

## 資料1 歌詞(私訳)と引用聖句

※聖書は新改訳 2017 を使っています。なお、メッセージで割愛する聖句もあり得ますのでご了承下さい。

※私訳は、三浦陽子姉と溝内美和子神学生が提供して下さいました。

### この讚美歌のルーツは聖餐式

#### (1) キリストの死はあなたの罪の代償

ルカ 22:19 それからパンを取り、感謝の祈りをささげた後これを裂き、弟子たちに与えて言われた。「これは、あなたがたのために与えられる、わたしのからだです。わたしを覚えて、これを行いなさい。」

#### (2) 新しい契約の発効

マタイ 26:27-28 また、杯を取り、感謝の祈りをささげた後、こう言って彼らにお与えになった。「みな、この杯から飲みなさい。／これは多くの人のために、罪の赦しのために流される、わたしの契約の血です。」

エレミヤ 31:31-33 見よ、その時代が来る——【主】のことば——。そのとき、わたしはイスラエルの家およびユダの家と、新しい契約を結ぶ。／その契約は、わたしが彼らの先祖の手を取って、エジプトの地から導き出した日に、彼らと結んだ契約のようではない。わたしは彼らの主であったのに、彼らはわたしの契約を破った——【主】のことば——。／これらの日の後に、わたしがイスラエルの家と結ぶ契約はこうである——【主】のことば——。わたしは、わたしの律法を彼らのただ中に置き、彼らの心にこれを書き記す。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。

#### (3) 栄光の御国を見通す勝利のパノラマの提示

マタイ 26:29 わたしはあなたがたに言います。今から後、わたしの父の御国であなたがたと新しく飲むその日まで、わたしがぶどうの実からできた物を飲むことは決してありません。」

#### (4) 聖餐は沈黙せる宣教

I コリント 11:26 ですから、あなたがたは、このパンを食べ、杯を飲むたびに、主が来られるまで主の死を告げ知らせるのです。

## 第1節 聖餐式への招き

限りあるかたちをもつ生きものすべては黙して、  
畏れをもち、おののきつつ、主のみ前に立てる、  
地の上の物事に思いを巡らせることもなく。  
恵みは、主のみ手のうちにある故に。  
神なるキリストが地上に降り給うた。  
ただ敬うべきことかな。 (私訳 Y.M)

すべての生けるもの、  
死すべき定めにある肉体を持つ者よ、沈黙を守れ  
畏れとおののきをもって立て  
あなたがたの思いを永遠なるものに向けよ  
祝福あるその御手のゆえに  
我らの神キリストは地にくだられた、  
私たちの礼拝の主として (私訳 M.M)

ゼカリヤ 2:13 すべての肉なる者よ、【主】の前で静まれ。主が聖なる御住まいから立ち上がられるからだ。」  
ハバクク 2:20 しかし【主】は、その聖なる宮におられる。全地よ、主の御前に静まれ。

## 第2節 キリストの人格と御業 ～まことの神、まことの人、贖い主

ヨハネ 1:1-5 初めにことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。／この方は、初めに神ともにおられた。／すべてのものは、この方によって造られた。造られたもので、この方によらずにできたものは一つもなかった。／この方にはいのちがあった。このいのちは人の光であった。／光は闇の中に輝いている。闇はこれに打ち勝たなかった。

ヨハネ 1:9-12 すべての人を照らすそのまことの光が、世に来ようとしていた。／この方はもとから世におられ、世はこの方によって造られたのに、世はこの方を知らなかった。／この方はご自分のところに来られたのに、ご自分の民はこの方を受け入れなかった。／しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとなる特権をお与えになった。

ヨハネ 6:35 イエスは言われた。「わたしがいのちのパンです。…

ヨハネ 6:53-58 イエスは彼らに言われた。「まことに、まことに、あなたがたに言います。人の子の肉を食べ、その血を飲まなければ、あなたがたのうちに、いのちはありません。／わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、永遠のいのちを持っています。わたしは終わりの日にその人をよみがえらせます。／わたしの肉はまことの食べ物、わたしの血はまことの飲み物なのです。／わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、わたしのうちにとどまり、わたしもその人のうちにとどまります。／生ける父がわたしを遣わし、わたしが父によって生きているように、わたしを食べる者も、わたしによって生きるのです。／これは天から下って来たパンです。先祖が食べて、なお死んだようなものではありません。このパンを食べる者は永遠に生きます。」

王の王、而して、マリアを通し、すでにいにしえに  
立っておられたこの地に再び人として生まれられた。  
その天の主が今、人の肉体と血のかたちをとられて、  
ご自分の存在のすべてを、信じる者どもに、  
天のみ国の糧として、与えられるであろう。  
(私訳 Y.M)

王の王なる方、しかしこの方はマリアから生まれた  
かつて彼は地に来られ、住まわれた  
主の主なる方、私たちは今彼を知っている  
彼の肉、彼の血によって  
彼は信仰者すべてにそれを与える  
彼自身を天の糧として (私訳 M.M)

### 第3節 キリストの御業 光は闇を滅ぼす

天のみ国の、次々と連なる軍勢、  
その絶えざる流れは、主の進まれる道上にある。  
み国の終わりなき時から来たれる、  
光の中で、唯一の、み光が下られるにつれ、  
地獄の力は失せていく。  
暗きものが、かき消されて行くと共に。 (私訳 Y.M)

天のいと高き支配者  
彼の御前には、彼から流れる出る川がある  
天から下ってきた光として  
世々に続く、終わる事が無い王国から来られた方  
彼は悪の力を打ち破り  
地獄の暗やみを一掃する (私訳 M.M)

#### (1)かつて ~神は約束して下さった

イザヤ 9:1-2 しかし、苦しみのあったところに闇がなくなる。…／闇の中を歩んでいた民は大きな光を見る。  
死の陰の地に住んでいた者たちの上に光が輝く。

#### (2)いま ~救い主イエス・キリストは来られた

ヨハネ 8:12 イエスは再び人々に語られた。「わたしは世の光です。わたしに従う者は、決して闇の中を歩むことがなく、いのちの光を持ちます。」

Iヨハネ 3:8 罪を犯している者は、悪魔から出た者です。悪魔は初めから罪を犯しているからです。その悪魔のわざを打ち破るために、神の御子が現れました。

#### (3)やがて ~再臨の主は義を持って裁いて下さる

黙示録 19:11-14 また私は、天が開かれているのを見た。すると見よ、白い馬がいた。それに乗っている方は「確かで真実な方」と呼ばれ、義をもってさばき、戦いをされる。／その目は燃える炎のようであり、その頭には多くの王冠があり、ご自分のほかはだれも知らない名が記されていた。／その方は血に染まった衣をまとい、その名は「神のことば」と呼ばれていた。／天の軍勢は白くきよい亜麻布を着て、白い馬に乗って彼に従っていた。

## 第4節 神を誉め讃えよ

主のみ足元に控える六翼の天使、  
また寝ずの番の見張りをする四翼の天使、  
すべて共に、主のみ前では、顔を覆うが、  
絶えることなく、声をはり上げ、  
ハレルヤ！ハレルヤ！  
いと高きところの主を称えよ、と叫び続ける。

(私訳 Y.M)

彼の足元には六つの翼のセラフィムがいる  
決して眠らない閉じる事のない目をもつケルビムが  
彼の御前で彼らの顔を覆っている。  
終わる事のない賛美を彼らは叫ぶ  
アレルヤ、アレルヤ  
アレルヤ、いと高き主よ

(私訳 M.M)

イザヤ 6:1-3 ウジヤ王が死んだ年に、私は、高く上げられた御座に着いておられる主を見た。その裾は神殿に満ち、／セラフィムがその上の方に立っていた。彼らにはそれぞれ六つの翼があり、二つで顔をおおい、二つで両足をおおい、二つで飛んでいて、／互いにこう呼び交わしていた。「聖なる、聖なる、聖なる、万軍の【主】。その栄光は全地に満ちる。」

黙示録 4:1 その後、私は見た。すると見よ、開かれた門が天にあった。そして、ラッパのような音で私に語りかけるのが聞こえた、あの最初の声があった。「ここに上れ。この後必ず起こることを、あなたに示そう。」

黙示録 4:6-8 御座の前は、水晶に似た、ガラスの海のようにであった。そして、御座のあたり、御座の周りに、前もうしろも目で満ちた四つの生き物がいた。／第一の生き物は獅子のようであり、第二の生き物は雄牛のようであり、第三の生き物は人間のような顔を持ち、第四の生き物は飛んでいる鷲のようであった。／この四つの生き物には、それぞれ六つの翼があり、その周りと内側は目で満ちていた。そして、昼も夜も休みなく言い続けていた。「聖なる、聖なる、聖なる、主なる神、全能者。昔おられ、今もおられ、やがて来られる方。」

### むすびの奨励

ミカ 5:2 「ベツレヘム・エフラテよ、あなたはユダの氏族の中で、あまりにも小さい。だが、あなたからわたしのためにイスラエルを治める者が出る。その出現は昔から、永遠の昔から定まっている。」

## 資料2 讚美歌歌詞

※讚美動画では、太文字表記箇所が歌われます。

### 讚美歌100番「生けるものすべて」

生けるものすべて おののきて黙(もだ)せ  
世の思いすてて ひたすらに仰げ  
かみの御子(みこ)は くだりたもう  
このきよき日にぞ

きみの君なれど マリヤより生まれ  
うまぶねの中に 産声をあげて  
おのが身をば あたえたもう  
つみびとのために

とこしえの光 暗き世にてりて  
み使いは御子を かしこみて崇(あが)む  
いざわれらも ほめうたわん  
いとたかき君を

### 三浦陽子姉からいただいた英語歌詞

**Let all mortal flesh keep silence,  
and with fear and trembling stand;  
set your minds on things eternal,  
for with blessing in his hand  
Christ our God to earth descending  
comes our homage to command.**

King of kings, yet born of Mary,  
once upon the earth he stood;  
Lord of lords we now perceive him  
in his body and his blood  
he will give to all the faithful  
his own self for heavenly food.

Rank on rank the host of heaven  
stream before him on the way;  
as the Light of light descending  
from the realms of endless day  
vanquishes the power of evil,  
clears the gloom of hell away.

**At his feet the six-winged seraphs,  
cherubim with sleepless eye,  
veil their faces in his presence  
as with ceaseless voice they cry:  
Alleluia, alleluia,**

### 資料3

#### ビザンチン典礼で使用されるギリシャ語テキストの英訳とその和訳

Let all mortal flesh keep silent, and stand with fear and trembling, and in itself consider nothing earthly; for the King of kings and Lord of lords cometh forth to be sacrificed, and given as food to the believers; and there go before Him the choirs of Angels, with every Dominion and Power, the many-eyed Cherubim and the six-winged Seraphim, covering their faces, and crying out the hymn: Alleluia, Alleluia, Alleluia.

すべての死すべき肉よ沈黙しよう、畏れおののき立とう、そうしながら地上的なことは何も考えず。  
王の王、主の主が犠牲になるために来られ、信者に食物として与えられるからです。  
彼の前に天使の聖歌隊が行きます、あらゆる支配と力を携えて、目がたくさん付いた  
ケルビムと六翼セラフィム、彼らの顔を覆いながら、賛美を叫ぶ  
アレルイア、アレルイア、アレルイア

出典 [https://en.wikipedia.org/wiki/Let\\_all\\_mortal\\_flesh\\_keep\\_silence](https://en.wikipedia.org/wiki/Let_all_mortal_flesh_keep_silence) 及び自動翻訳を修正

#### ニカイア信条 ( Wikipedia )

われらは信ず。唯一の神、全能の父、すべて見えるものと見えざるものとの創造者を。  
われらは信ず。唯一の主イエス・キリストを。  
主は神の御子、御父よりただ独り生まれ、すなわち御父の本質より生まれ、  
神よりの神、光よりの光、真の神よりの真の神、造られずして生まれ、  
御父と同質なる御方を。  
その主によって、万物、すなわち天にあるもの地にあるものは成れり。  
主はわれら人間のため、またわれらの救いのために降り、肉をとり、人となり、苦しみを受け、  
三日目に蘇り、天に昇り、生ける者と死ねる者とを審くために来たり給う。  
われらは信ず。聖霊を。  
御子が存在しなかった時があったとか、御子は生まれる前には存在しなかったとか、  
存在しないものから造られたとか、他の実体または本質から造られたものであるとか、  
もしくは造られた者であるとか、神の御子は変化し異質になりうる者であると主張する者を、  
共同かつ使徒的な教会は呪うものである。

(関川泰寛氏による日本語訳)

出典 <https://ja.wikipedia.org/wiki/ニカイア信条#日本語訳>